

テーマ《父性力と仕事力》

《ねらい》

このような講座に参加するパパは、家でもそれなりに育児に関わっている方がほとんど。しかし、「家事・育児」の一部分しか見えていないパパが多いのもまた現実。そこで、自分は具体的に何ができるのか、子どもが病気の時、妻が病気になったときなどに、どんな対応をするのか、というのをシミュレーションすることによって、積極的に家事・育児に参加しようとする気持ちを育むことをねらいとします。

《話題提供者》

- ・子育てに積極的に関わっている先輩パパ



《話題提供者に話していただく内容》

- ・家庭で、家事や育児をどのように分担しているのか
- ・子どもや妻が病気の際に自分はどうかの実体験

《みんなで語り合おう》

家事にはどんなものがあるだろう。自分ができる家事・育児を全部書き出してみよう。
 掃除 掃除機をかける、トイレ掃除、など具体的に付せんに書く。
 家事の内容と、毎日する・1週間に1回・月に1回・年に1～数回 で分類する。

子どもが病気になったとき、妻が病気になったとき、親類や地域、行政の制度などをどのように利用するかをシミュレーションする。

ワークシートの例

親戚、近所など頼れる人、利用できそうなサービスを書き出してみましょう。

誰がいる？	子どもを連れて行く・来てもらう？ それにかかる時間はどれくらい？	預けられそうな時間	頼める気軽度

子どもが病気になったとき、どんな段取りをしたらいいでしょうか。

- パターン1 夜、子どもが熱を出した。明日の朝も下がらないかもしれない。
- パターン2 幼稚園・保育園から「お子さんが熱を出した。迎えに来てください」と連絡が入った。
- パターン3 子どもがけがで入院した。1週間は夜も付き添いが必要と言われた。
- パターン4 2人目の子どもが入院した。上の子は幼稚園・保育園だから送り迎えが必要。

まず確認することは

どこに連絡する・何を調整する？

病児・病後児保育、子育て短期支援利用事業、一時保育、認可外保育施設の一時預かり、ファミリーサポートセンター、民間のベビーシッター、保育サポーターなど、地域で利用できる情報を主催者が提供しましょう。